

令和6年度千歳市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全面積に占める主食用米面積の割合が約18%【82.9ha/453.2ha】で、転作作物に占める小麦【100.4ha】、大豆【51.7ha】、飼料作物【127.2ha】の面積が多く、土地利用型作物の作付が多い。

【地域の課題】

- ① 国内で主食用米の需要が減少する中で、畑作物への転換が増えている。地域としては、農家の高齢化が進む中、農家戸数の減少もあることから、所得向上等を図るため、畑作物等から高収益作物等への転換及び作付拡大を図ることが課題である。一方で、地域においては、主食用米についても一定の需要があることから、地域の需要に応じた水稲作付面積の維持も課題となっている。
- ② 当該地域は、土壌の肥料保持力が低いことから、地力を向上することで生産力を高め、農業経営の安定化を図ることが課題となっている。
- ③ 石狩管内の他地域において、小麦の連作障害が発生していることから、当該地域においても適正な輪作体系を構築することで、連作障害を抑制することが課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農業者の所得向上につながる高収益作物や、国内需要の高い大豆、労働生産性の高いてん菜、時間当たりの所得が高い子実用とうもろこし、近年需要が高まっている小豆・菜豆・葉草とその他の振興作物であるそば・なたね等の作付を推進し、小麦の連作障害を防ぐための輪作体系を構築する。

産地交付金を有効に活用しながら、当地域の現状や課題点を把握し計画的に推進作物への転換につながるよう目標設定を行うとともに、説明会等において農業者への周知・助言を行い、地域全体で収益力強化が達成されるよう取り組む。

低コスト生産の取組を推進し、実需者ニーズを踏まえた市場性の高い品種の安定生産を推進する。特に当地域の土壌は火山灰質により肥料保持力が低く、また大型農業機械の土壌踏圧等により排水性が悪いため、暗渠等の基盤整備や心土破碎等の排水対策、土壌分析に基づいた土壌改良技術の導入を推進する。

その他、肥料低減や病害虫防除等の取組を導入する。

小麦（ゆめちから）、大豆（ユキシズカ・とよまさり等）、高収益作物である馬鈴しょ・南瓜・ブロッコリーについては産地ブランド化を図り、地域の振興作物である小豆・菜豆・葉草については、実需との協議に基づきニーズの高い品種の生産拡大を図る。野菜については、消費・実需者ニーズを踏まえた新品種や新規作物の導入を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田収益力強化を目指し地域の作付実態の把握、作付推進に努める。当地域の水田は有効に活用されているが、例年行う作付計画の聞き取りから、水稲の作付や転作田の活用状況について把握・確認を継続して行い、有効利用なされていない水田の状況や今後の担い手や労働力の状況等を把握しながら必要に応じて農家への助言を行う。

なお、当地域の水田は全耕地面積の1割弱と少なく、水稲以外の作付が続いている水田においても急激な需給環境の変化や作柄変動に対応し、水稲の作付が再開できる体制の維持を基本とするが、今後の地域の作付方針など実情を踏まえながら、畑地化の取り組みを進めるための支援を行う。

また、水田収益力強化にあたり、小麦等の連作を防ぎ、地域戦略作物のてん菜や地域振興作物である小豆・菜豆・葉草とその他作物のそば・なたね、高収益作物の野菜

や花き労働生産性の高いてん菜や子実用とうもろこし等の輪作を推進し、農業者の所得向上を図るとともに、低コスト生産を推進し、需要に応じた良品質な農産物の安定生産を図る。

4 作物ごとの取組方針等

市内の約438haの水田について適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

売れる品種の選択・集約と歩留率の向上に向けた取組や業務用需要に対応した、収量性の高い品種導入と販売力の強化を図るほか、JA道央のブランド米である「う米蔵」の販売強化と良品質・良食味米生産の推進を行う。

(2) 備蓄米

備蓄用米の需要動向に応じた作付面積を確保する。

(3) 非主食用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米、米粉用米、加工用米、輸出用米の生産にあたっては、生産者の意向と消費・実需者ニーズを踏まえて生産の推進を行う。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦については、適正な輪作体系維持に向け過作を回避しながら、用途別品種の生産体制を整備し、消費・実需者ニーズの高いパン・中華麺用品種へ作付集約する。

大豆は、適正な輪作体系を基本として消費・実需者ニーズを踏まえた市場性の高い品種の生産を推進する。このほか、病害対策も考慮した中で、小麦（ゆめちから）、大豆（ユキシズカ・とよまさり）については産地ブランド化、土壌診断等を踏まえた肥培管理の実施によるコスト削減を図る。

飼料作物は、飼料自給率の向上及び良質粗飼料を確保するため、有機質資材の投入や暗渠等の排水対策などの基盤整備、計画的な草地更新を実施するほか、子実用とうもろこしを活用した輪作体系の確立を図る。

(5) てん菜

適正な輪作体系を図るため作付面積維持を目指すと共に、省力・低コスト生産技術の導入などによる生産性の向上と、産糖量の維持・確保に向けた品質向上対策を推進するため地域戦略作物とする。

(6) 地域振興作物

小豆・菜豆については、実需のニーズに基づいた生産と適正な輪作体系の維持を図るため地域振興作物とする。小豆・菜豆は実需者ニーズを踏まえた生産と輪作体系維持のため、一定の作付確保を目指す。

薬草については、実需との協議に基づきニーズの高い品種の拡大を図る

(7) 高収益作物（園芸作物等）

野菜・薬草については、消費・実需者ニーズを踏まえた新品種や新規作物の導入を図る。

また、馬鈴しょについては輪作体系維持のため作付の維持・推進を図る。

(8) そば、なたね

単収の高位安定化を図るために土壌改良の取組を実施することを要件とし、地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積の維持に努める。

(9) 地力増進作物

地力増進作物の作付により、良質な農産物の安定供給、生産コストの低減及び環境負荷の軽減に配慮した合理的な施肥管理・土壌管理を進めると共に、輪作体系維持を目的に作付展開を図る。

対象作物：ベッチ類、ペルコ、カラシナ類、レバナ、はぜりそう、マリーゴールド、ひまわり、キガラシ、ステビア、ナタネ、ヘイオーツ、ライ麦

(10) その他作物

花き、花木、芝については消費・実需者ニーズを踏まえた生産を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等 ~ **8 産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	75.85	—	72.92	—	73	—
備蓄米	12.32	—	9.97	—	9.97	—
飼料用米	0.00	—	0.00	—	0	—
米粉用米	0.00	—	0.00	—	0	—
新市場開拓用米	0.00	—	0.00	—	0	—
WCS用稲	0.00	—	0.00	—	0	—
加工用米	2.94	—	2.01	—	3	—
麦	94.23	—	105.37	—	90	—
大豆	43.06	—	61.73	—	74.22	—
飼料作物	124.57	—	127.18	—	119	—
▪ 子実用とうもろこし	15.58	—	15.20	—	17	—
そば	0.00	—	2.00	—	3	—
なたね	40.90	—	2.00	—	2	—
地力増進作物	10.95	—	3.21	—	4	—
高収益作物	23.27	—	30.24	—	40	—
▪ 野菜	20.17	—	30.00	—	34	—
▪ 花き・花木	0.00	—	0.00	—	0	—
▪ 果樹	0.14	—	0.24	—	1	—
▪ その他の高収益作物	2.96	—	0.00	—	0	—
その他	25.10	—	36.56	—	35	—
▪ てん菜	17.06	—	17.56	—	20	—
▪ その他作物	8.04	—	19.00	—	21	—
畑地化	329.11	—	83.63	—	7.648	—

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦（種子含む）・大豆（種子・黒大豆含む）・飼料作物（別表の通り）・そば・なたね・てん菜・馬鈴しょ（生食・加工・種子含む）小豆・菜豆・野菜（別紙）・薬草・花き（花壇用苗含む（別紙））・花木（別紙）・芝	土壌改良助成	壤分析CEC（me値） 土壌改良取組面積（a） 対象作物作付面積（a）	（5年度）14.5 me値 （5年度）29,786 a （5年度）31,444 a	（8年度）15.0 me値 （8年度）30,000 a （8年度）32,500 a
2	てん菜	地域戦略作物助成	対象作物作付面積（a） 対象作物における単収（kg/10a）	（5年度）1,706 a （5年度）6,421 kg/10a	（8年度）2,000 a （8年度）7,000 kg/10a
3	小豆・菜豆・薬草（業務・加工・種子含む）	地域振興作物助成	対象作物作付面積（a）	（5年度）296 a	（8年度）330 a
4	野菜（別紙）・馬鈴しょ（生食・加工・種子含む）	高収益作物等作付助成	対象作物作付面積（a）	（5年度）3,144 a	（8年度）4,000 a
5	非主食用米（飼料用米・米粉用米・加工用米・輸出用米（新市場開拓用米））	非主食用米等作付助成	対象作物作付面積（a） 対象作物の単収（kg/10a）	（5年度）294 a （5年度）470 kg/10a	（8年度）320 a （8年度）500 kg/10a
6	地力増進作物（別紙）	緑肥転換助成	対象作物取組面積（a）	（5年度）849a	（8年度）380 a
7	そば・なたね	そば・なたね作付助成	反収増加率（R2比） そば・なたね作付面積	（5年度）-18.3 % （5年度）409 a	（8年度）3%増（R5年比） （8年度）460 a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:千歳市地域農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	土壌改良助成	1	5,400	小麦(種子含む)・大豆(種子・黒大豆含む)・飼料作物(別表の通り)・そば・なたね・てん菜・馬鈴しょ(生食・加工・種子含む)・小豆・菜豆・野菜(別紙)・薬草・花き(花壇用苗含む(別紙))・花木(別紙)・芝	土壌分析に基づく施肥設計及び湿害対策等の土壌改良技術の取組
2	地域戦略作物助成	1	18,300	てん菜	土壌分析に基づく施肥設計及び湿害対策の実施
3	地域振興作物助成	1	9,100	小豆・菜豆・薬草(業務・加工・種子含む)	対象作物を作付けし、出荷・販売すること
4	高収益作物等作付助成	1	9,100	野菜(別紙)・馬鈴しょ(生食・加工・種子含む)	対象作物を作付けし、出荷・販売すること
5	非主食用米等作付助成	1	9,100	非主食用米(飼料用米・米粉用米・加工用米・輸出用米(新市場開拓用米))	温湯種子消毒・土壌診断に基づく施肥・ケイ酸資材の施用・適期病害虫防除の実施・透水性の改善対策等の実施・融雪剤散布等、多収品種の導入、スマート農業機器の活用のうち、2つ以上の取組を実施
6	緑肥転換助成	1	20,000	地力増進作物(別紙)	当年度対象作物の総作付面積を、昨年度より拡大すること
7	そば・なたね作付助成	1	20,000	そば・なたね	対象作物を作付けし出荷・販売すること及び土壌改良助成の取組を実施

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

※5 支援年限を記入してください。

【別紙】

区 分	
1	小豆
2	馬鈴しょ
3	生食馬鈴しょ
4	種子馬鈴しょ
5	加工用馬鈴しょ
6	豆類
7	てん菜
8	野菜
9	あさつき
10	明日葉
11	アスパラガス(グリーン)
12	アスパラガス(ホワイト)
13	アスパラガス(紫)
14	いちご
15	いんげん
16	うど
17	うり
18	えだまめ
19	エゴマ
20	オクラ
21	大麦(若葉収穫用のみ)
22	かぶ
23	かぼちゃ
24	カリフラワー
25	かんしょ
26	カイラン
27	カイワレ大根
28	きのこ
29	キャベツ
30	きゅうり
31	ぎょうじゃにんにく
32	クレソン
33	くわい
34	ケール
35	ゴーヤ
36	ごごみ
37	小ねぎ
38	ごぼう
39	こまつな
40	コモチカイラン
41	こんにゃく
42	ささげ
43	さつまいも
44	さといも
45	サニーレタス
46	さやいんげん
47	さやえんどう
48	サラダ菜
49	サンチュ
50	しいたけ
51	ししとう
52	しそ
53	しめじ茸
54	しゆんぎく
55	しょうが
56	ジュンサイ
57	食用キク
58	食用ハーブ
59	食用ゆり(ゆりね)
60	スイートコーン
61	ずいか
62	ズッキーニ
63	スナップエンドウ
64	せり
65	セルリー
66	ぜんまい
67	そらまめ
68	ソルトリーフ
69	タアサイ
70	だいこん
71	大根菜
72	たいな
73	たまねぎ
74	たらの芽
75	チコリ
76	ちんげんさい
77	パンダホール(花ニラ)
78	とうがらし
79	冬瓜
80	トマト
81	ながいも
82	なす
83	なた豆
84	菜花
85	軟白ねぎ
	なんばん

区 分	
86	野菜
87	にがうり
88	にら
89	にんじん
90	にんにく
91	にんにくの芽
92	ねぎ
93	野沢菜
94	はくさい
95	花みょうが
96	ハマボウフ
97	パセリ
98	パプリカ
99	ピーマン
100	広島菜
101	ぶぎ
102	ブロッコリー
103	米なす
104	ベビーリーフ
105	ほうれんそう
106	まくわうり
107	実えんどう(グリーンピース)
108	みずな
109	水かさび
110	実とりからし
111	みつば
112	ミニかぼちゃ
113	ミニトマト
114	みぶ菜
115	みょうが
116	メロン
117	モロヘイヤ
118	ヤーコン
119	山ごぼう
120	山のいも
121	山わさび
122	ゆりね
123	落花生
124	らっきょう
125	ラテッシュ
126	リーキ(ポワレ)
127	リーフレタス
128	ルバーブ
129	ルッコラ
130	レタス
131	レンコン
132	レッドキャベツ
133	わさび
134	わらび
135	わさびだいこん
136	花き
137	アイリス
138	アキュレギアノラバーロ
139	アゲラタム
140	アザミ
141	アジサイ
142	アスクレピアス
143	アスター
144	アスチルベ
145	アストランチャ
146	アスパラガス(観賞用)
147	アトランティアマヨール
148	アナベル(切枝)
149	アネモネ
150	アマランサス
151	アマランサスサラダ
152	アリウム
153	アリストロメリア
154	アルケミラ
155	アルプカ
156	アロニア(切枝)
157	イキシア
158	イタリヤンスカス
159	インパチエンス
160	ウイキョウ
161	ウインターグラジオラス
162	うばゆり(ユリ科)
163	ウメモドキ
164	エキノブシ
165	エボタ
166	エリンジウム
167	エレムルス
168	オオデマリ(切枝)
169	オーニソガラム
170	オダマキ
	おもちゃかぼちゃ
	オルパナ

区 分	
171	花き
172	花き
173	オレガノ
174	カーネーション
175	ガーベラ
176	カキツバタ
177	カスミソウ
178	かぼちゃ(観賞用)
179	ガマ(ガマ科)
180	カララ
181	カンゾウ
182	カルカムス
183	カンゾ
184	カンパニユラ
185	キイチゴ
186	ギガンジウム
187	キク
188	菊アスター(キク科)
189	切葉類
190	キャラウェイ
191	キャンディタフト
192	金風車(キク科)
193	きんぎょそう
194	クジャクソウ
195	グラジオラス
196	グラスベディア
197	クリスマスローズ
198	クレマチス
199	グロリオサ
200	けいとう
201	小菊
202	コスモス
203	コティナス
204	コデチャ
205	コデマリ
206	コワニー(ユリ科)
207	サイネリア
208	桜(切枝)
209	桜小町
210	サクラソウ
211	サリクトラム
212	サンダーソニア
213	シオン(キク科)
214	シクラメン
215	ジニア
216	シモツケ
217	ジャクヤク
218	宿根デージー
219	ショウブ
220	シレネ
221	白妙菊
222	ツバキカガハス(切枝)
223	スイートピー
224	スイセン
225	スカビオサ
226	スキミア
227	スズバラ
228	スズメウリ
229	スズラン
230	スターチス
231	スタキス
232	ステイバ
233	ストック
234	ストロベリーコーン
235	ストロベリースティック
236	スナップ
237	スノーボール(切枝)
238	スピードリオン
239	スモーググラス
240	スモークツリー(切枝)
241	スモグソウ
242	セダム
243	セファロフォラ(加工用)
244	ゼラニウム
245	セントレアオリエンタリス
246	千日紅
247	センニチソウ
248	ソリダゴ
249	ソリダコタラ
250	ソリダスター
251	ダイヤモンド
252	大根草
253	ダスティミラー
254	ダリア
255	チドリソウ
	チャームブルー
	チューリップ

【別紙】

区分	
256	花き・花き
257	花き
258	花き
259	花き
260	花き
261	花き
262	花き
263	花き
264	花き
265	花き
266	花き
267	花き
268	花き
269	花き
270	花き
271	花き
272	花き
273	花き
274	花き
275	花き
276	花き
277	花き
278	花き
279	花き
280	花き
281	花き
282	花き
283	花き
284	花き
285	花き
286	花き
287	花き
288	花き
289	花き
290	花き
291	花き
292	花き
293	花き
294	花き
295	花き
296	花き
297	花き
298	花き
299	花き
300	花き
301	花き
302	花き
303	花き
304	花き
305	花き
306	花き
307	花き
308	花き
309	花き
310	花き
311	花き
312	花き
313	花き
314	花き
315	花き
316	花き
317	花き
318	花き
319	花き
320	花き
321	花き
322	花き
323	花き
324	花き
325	花き
326	花き
327	花き
328	花き
329	花き
330	花き
331	花き
332	花き
333	花き
334	花き
335	花き
336	花き
337	花き
338	花き
339	花き
340	花き

区分	
341	花き
342	花き
343	花き
344	花き
345	花き
346	花き
347	花き
348	花き
349	花き
350	花き
351	花き
352	花き
353	花き
354	花き
355	花き
356	花き
357	花き
358	花き
359	花き
360	花き
361	花き
362	花き
363	花き
364	花き
365	花き
366	花き
367	花き
368	花き
369	花き
370	花き
371	花き
372	花き
373	花き
374	花き
375	花き
376	花き
377	花き
378	花き
379	花き
380	花き
381	花き
382	花き
383	花き
384	花き
385	花き
386	花き
387	花き
388	花き
389	花き
390	花き
391	花き
392	花き
393	花き
394	花き
395	花き
396	果樹
397	果樹
398	果樹
399	果樹
400	果樹
401	果樹
402	果樹
403	果樹
404	果樹
405	果樹
406	果樹
407	果樹
408	雑穀
409	雑穀
410	雑穀
411	雑穀
412	雑穀
413	雑穀
414	雑穀
415	雑穀
416	雑穀
417	地力増進作物
418	地力増進作物
419	地力増進作物
420	地力増進作物
421	地力増進作物
422	地力増進作物
423	地力増進作物
424	地力増進作物
425	地力増進作物

区分	
426	地力増進作物
427	地力増進作物
428	地力増進作物
429	地力増進作物
430	地力増進作物
431	地力増進作物
432	地力増進作物
433	地力増進作物
434	地力増進作物
435	地力増進作物
436	地力増進作物
437	地力増進作物
438	その他作物
439	その他作物
440	その他作物
441	その他作物
442	その他作物
443	その他作物
444	その他作物
445	その他作物
446	その他作物
447	その他作物
448	その他作物
449	その他作物
450	その他作物
451	その他作物
452	その他作物
453	その他作物
454	その他作物
455	その他作物
456	その他作物
457	その他作物
458	その他作物
459	その他作物
460	その他作物
461	その他作物
462	その他作物
463	その他作物
464	その他作物
465	その他作物
466	その他作物
467	その他作物
468	その他作物
469	その他作物
470	その他作物
471	その他作物
472	その他作物
473	その他作物
474	その他作物
475	その他作物
476	その他作物
477	その他作物
478	その他作物
479	その他作物
480	その他作物
481	その他作物
482	その他作物
483	その他作物